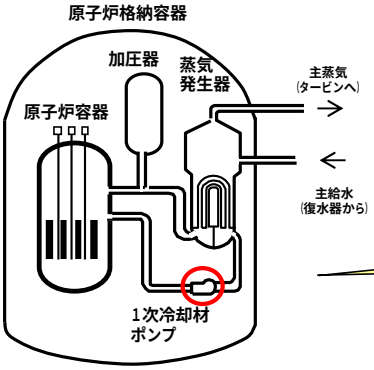
図－6　1次冷却材ポンプ軸シール部改造工事

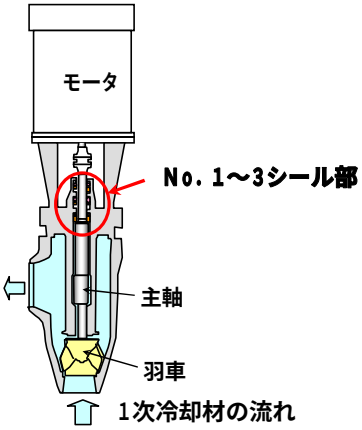
工事概要

設備の信頼性を一層向上させる観点から、シールの摺動面で発生した摩耗粉がシールの動きを阻害することを防止するため、1次冷却材ポンプ4台のNo.3シール部に1次系純水を供給して摩耗粉を排出する系統を新たに設置した。

系統概要図



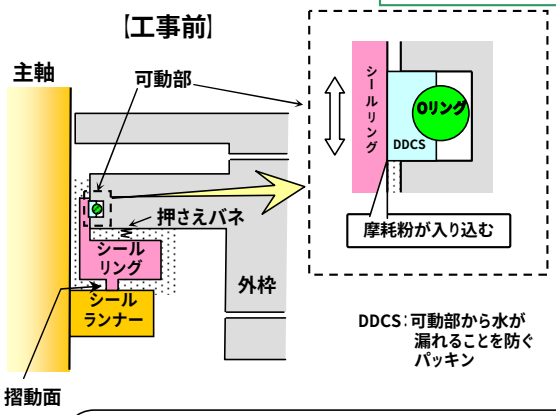
1次冷却材ポンプ概要図



工事概要図

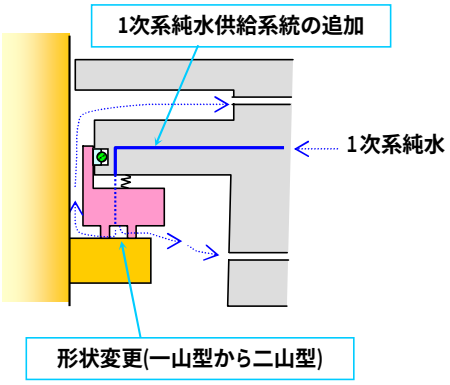
軸シール部の変更概要

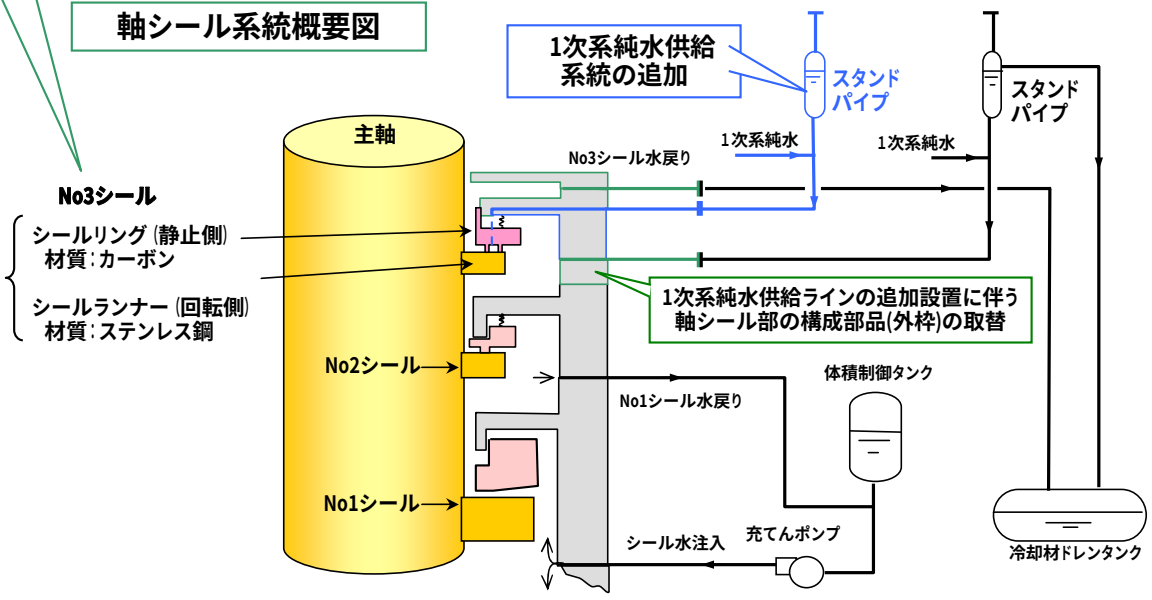
【工事前】



①シールランナーとシールリングが接触することにより、水が漏れ出ることを防止
②シールリングの摩耗粉が発生
③水の流れが僅かであるため、摩耗粉が滞留
④シールリングとDDCSの接触面に摩耗粉が入り込む
⑤シールリングの上下方向の動きが鈍くなる

【工事後】



1次系純水を常時流すことにより、シールの摺動面で発生した摩耗粉をシール部より排出

軸シール系統概要図